



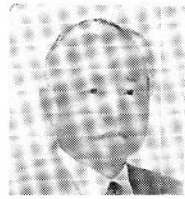
波のうみ

第 2 2 号

学会会明
同窓会
センター
学習委員
大務員
送務員
放集者
行集者
編任者
責行日
会員数
753名(平成13年9月1日現在)

老いて学べば

死して朽ちず



神代和俊 教授

神奈川学習センター所長

還暦を過ぎたころから、同窓会の回数が増え、ほぼ半世紀を横浜で過ごしました。小学校は栗田谷小学校(三年生まで)と斉藤小学校、中学・高校は県立二中(途中から新制の横浜翠嵐高等学校)、大学は横浜国立大学経済学部でした。職場の大部分も横浜(横浜国立大学のキャンパスは昭和四八年夏に清水ヶ丘から今の常盤台に移転)でした。関内や伊勢佐木町をはじめ、飲みに行くときよく同級生に会います。横浜は、さわやかな潮風と緑に恵まれ、港で外に開かれた進取の気性の盛んなところ。森鷗外作の横浜市歌にあるとおり、「この横浜に勝るあらめや」という気持ちが強いのです。それに、このたび、おそらく私にとって「最後の職場」となる当学習センターの同窓会が加わることになり、まことに感慨深いものがあります。放送大学は、生涯学習のために作られた機関ですから、卒業生の皆さんは、卒業後も職場や家庭で、働きながら読書と思索を続けられていることと思います。私は、佐藤一斎の『言志晩録』にある「少にして学べば壯にして為すあり、壯にして学べば老いて衰えず、老いて学べば死して朽ちず」を座右の銘にしています。佐藤一斎は、周知のように、江戸時代末期の偉大な儒学者で、佐久間象山、勝海舟、坂本龍馬、吉田松陰らの師であり、七〇歳で品平齋の儒目(学長)となった人で、『言志晩録』は彼が六七歳から七八歳までの間

に書かれたものです。今日のように変化と進歩の激しい時代には、絶えず新しい技術や理論、思想を取り入れて行かなければなりません。昔から少しも変わっていないと思いません。二十九日には参議院議員選挙がありますが、日本の政治家にも、ぜひもう少し読書と思索をしてほしいと思います。バブル経済後のわが国の惨憺たる有り様は、高度成長期に、政治家、企業経営者、官僚など、世の中の上に立つ人々が、ゴルフや宴会にばかり現を抜かして、謙虚に学び思索する姿勢を失ったためではなかったか、というのが近頃の私の感想です。(二〇〇一年七月二十五日 記)

第十一回

通常総会報告

第十二回神奈川学習センター同窓会通常総会は、平成十三年五月十三日(日)午後一時から学習センター第七講義室において開催されました。

- 次の議案が審議されました。
 - 一、平成十二年度活動報告
 - 二、平成十二年度収支・決算報告及び監査報告
 - 三、平成十二年度F・P活動報告
 - 四、平成十二年度F・P収支・決算報告及び監査報告
 - 五、平成十三年度活動計画(案)
 - 六、平成十三年度収支・予算(案)
 - 七、平成十三年度F・P活動計画(案)
 - 八、平成十三年度F・P収支・予算(案)
 - 九、平成十三年度役員選任
- 以上九件の議案は賛成多数で原案通り可決承認されました。
- 【総会成立の確認】
- | | | | |
|------|------|------|------|
| 会員総数 | 七五三名 | 出席者数 | 四一名 |
| 委任状数 | 三七一名 | 合計 | 四一二名 |
- 会則第十二条により総会は成立しました。

平成十三年度活動計画

会員相互の親睦、生涯学習の実践、社会への貢献を主な目的として、次のことを行います。

- 一、見学会 四月二十二日 東京お台場と船の科学館
 - 二、講演会 五月十三日(総会終了後) 演題 「ゲーデルの業績について」 講師 神奈川学習センター 限部 正博 助教授
 - 三、懇親会開催 総会終了後開催
 - 四、ハイキング 詳細は「波瀾」の《企画だより》に掲載します。
 - 五、話と映画鑑賞「映画100年」 詳細は「波瀾」の《企画だより》に掲載します。
 - 六、役員会開催(年六・七回予定)
 - 七、会報「波瀾」発行(年一回九月、三月) (発展途上国の子供とその家族・地域に対する経済的、精神的援助を目的とする。活動は主に、F・P実行委員会による。)
 - 九、その他
 - ①放送大学同窓会連合会への参画
 - ②卒業祝賀会への参画
 - ③新規会員の募集活動
 - ④会員によるサークル活動へのバックアップ等
- ### 平成十三年度F・P活動計画
- 一、フォスター・チャイルド5名援助継続と交流
 - 二、同窓会員からの寄付募集活動
 - 三、講演会及び勉強会等の開催
 - 四、広報活動の活動
 - 五、フォスター・チャイルド母国大使館や関係機関との情報交換等
 - 六、実行委員会の開催

会 計 報 告

平成12年度収支決算報告
(平成12年4月1日～平成13年3月31日)

(単位:円)

科 目	予算額	決算額
1. 収入の部		
(1)前年度繰越金	4,085,120	4,085,120
(2)入会金	275,000	205,000
(3)年会費	525,000	539,000
(4)寄付金	2,000	9,000
(5)利子	2,500	2,720
収入合計	4,889,620	4,840,840
2. 支出の部		
(1)活動費	750,000	707,290
会報費	150,000	121,640
記念誌・名簿発行	500,000	514,360
活動運営費	100,000	71,290
(2)事務運営費	580,000	333,828
連合会会費	0	0
会議費	30,000	10,930
交通費	120,000	66,310
通信費	300,000	184,146
振替手数料	40,000	24,420
消耗品費	50,000	11,805
交際費	30,000	30,705
雑費	10,000	5,512
(3)予備費	100,000	0
支出小計	1,430,000	1,041,118
3. 次年度繰越金	3,459,620	3,799,722
合 計	4,889,620	4,840,840

平成13年度収支 予算
(平成13年4月1日～平成14年3月31日)

(単位:円)

科 目	予算額
1. 収入の部	
(1)前年度繰越金	3,799,722
(2)入会金	250,000
(3)年会費	753,000
(4)寄付金	10,000
(5)利子	2,500
収入合計	4,815,222
2. 支出の部	
(1)活動費	300,000
会報費	150,000
活動運営費	100,000
卒業祝賀運営費	50,000
(2)事務運営費	520,000
連合会会費	0
会議費	30,000
交通費	100,000
通信費	300,000
振替手数料	30,000
消耗品費	30,000
交際費	20,000
雑費	10,000
(3)会員名簿引当金	100,000
(4)予備費	100,000
支出小計	1,020,000
3. 次年度繰越金	3,795,222
合 計	4,815,222

フォスター・プラン

平成12年度収支決算報告
(平成12年4月1日～平成13年3月31日)

科 目	予算額	決算額
1. 前年度より繰越	815,737	815,737
2. 収入の部		
(1)寄付	400,000	321,120
(2)同窓会より助成金	10,000	10,000
(3)貯金利子	500	269
小 計	410,500	331,389
合 計	1,226,237	1,147,126
3. 支出の部		
(1)援助金	300,000	285,000
(2)活動費	10,000	0
(3)事務費	10,000	11,725
(4)通信費	10,000	5,000
小 計	330,000	301,725
4. 次年度へ繰越	896,237	845,401
合 計	1,226,237	1,147,126

フォスター・プラン

平成13年度収支 予算
(平成13年4月1日～平成14年3月31日)

科 目	予算額
1. 前年度より繰越	845,401
2. 収入の部	
(1)寄付	320,000
(2)同窓会より助成金	10,000
(3)貯金利子	200
小 計	330,200
合 計	1,175,601
3. 支出の部	
(1)援助金	※ 250,000
(2)活動費	10,000
(3)事務費	10,000
(4)通信費	10,000
小 計	280,000
4. 次年度へ繰越	895,601
合 計	1,175,601

※前年2ヶ月分支払済

Q & A

通常総会において質問や意見がありま
した項目を補足説明して、会員の皆様にご
理解を得たいと思います。

【会員数・会費関係】

Q: 年会費納入者が実数539名となつて
いるが、予算額は、753名となつて
いるのはなぜか？

A: H12年度会費納入者実績延べ539
名ということは、過年度分を含めて納
入して頂いた実績を示しています。

予算額は、総会時点での会員数753
名で算出しました。H12年度まで
は、前年度実績をもとに常に3割前後
の方に相当する金額が未納のまま
予算を組み、経過していました。

しかし、第10回総会で年会費未納
者は2年の猶予を待つてサービス
停止させてもらうことになりました。
これを厳格に実行した場合、現状の
ままでは会員は減少してしまいます。
会員の方が常に積極的に同窓会活動
に参加して頂けるように魅力ある同
窓会にし、そのためには会員の動向に
注目して頂きたいと思っています。

Q: H12年度会費納入者実績延べ539
名となつているが実質会費納入者数
はどうなつてくるのか？

A: H12年度分実質納入者を終身会員と
新会員(H10年以降)に分けた場合、
終身会員318名、新会員90名とな
つています。夫々納入率は51%、
73%になつています。

未納者に対して協力をお願いした結果
現在納入者が増えていきます。

今後とも宜しく協力をお願い致します。

尚、最近会員の方の住所不明、転居先不
明、受け取り拒否等があつて十分なサービ
スが行き届かないケースがあります。
住所変更の場合、事務局に連絡をお願いし
ます。

下記の方々の住所が判りでしたら事
務局まで連絡をお願い致します。

【繰越金関係】

Q: 前年度繰越金額が多いわけは？

A: H10年放送大学同窓会は、本部・支
部制を廃止して各センター毎に独立
運営することになりました。

この時に神奈川学習センター支部
から現在の神奈川学習センター同窓
会と改称しました。

併せて本部解散に伴い終身会費残
金4,072円/人が会員数に応じて
各同窓会に還付されました。終身会費
基金として323万2630円計上
しました。

その後H11年度から一般会計とし
て計上しています。この金額が繰越金
の大部分を占めています。

Q: 繰越金の利子運用はしないのか？

A: H11年度までは会計担当名義で郵便
局の定期貯金にしてあった。現在は担
当者が変わって普通貯金に入れてあ
り特別の運用は考えていません。
しかし、今後管理面から検討したいと
思います。

【フォスター・プラン活動関係】

Q: 援助者として子供の名前が出て
いるのは拙いのではないか、どのよう
な活動をしているのか？

A: フォスター・プラン(国際名称: FOSTER
INTERVENTION)は、特定の宗教、政治
に関係のない国際NGOで、国連に公
認・登録されています。活動は子供に
焦点を当てた地域開発を住民主体で進
めています。活動の中心はアジア、中
南米、そしてアフリカ。途上国と呼ば
れる国の子供や家族と手紙などで交流
を持ちながら、その子供の住む地域の
生活向上を支援するフォスター・ペ
アレント制度です。フォスターとは、「育
てる、助成・奨励する」という意味で、
フォスター・チャイルドはいわゆる「里
子」ではないので、援助金が直接渡さ
れることはありません。

同窓会はフォスター・ペアレントとし
て5人のチャイルドと一年に1〜2度
手紙の交換をしています。昨年はチャ
イルドのソムチャイ君(タイ)を現地
に訪ねて交流を深めてきました。

Q: 助成金1万円と援助金1ヶ月5千円は
どのように運用されているのか？

A: フォスター・プラン活動は、同窓会か
らの助成金と同窓会員の方々からの寄
付金で全て運営しています。運用方法
は(財)日本フォスター・プラン協会
にフォスター・チャイルド1人当り
毎月5千円を振り込みます。

毎月国際本部に送金され、現地プロジ
ェクトに配分されます。現地事務所は

地域の人々と話し合い、実施すべきプロジ
ェクトを決めて予算申請し、国際本部・国
際理事会の承認を受けます。援助金は総合
的な開発援助プロジェクトを通じて、フォ
スター・チャイルドや家族、地域の生活向
上のために役立てられます。

同窓会では、「社会への貢献」としてこのフ
ォスター・プラン活動をほかの同窓会に先駆け
て展開しています。これも会員の皆様のご理解
と協力の賜物と思えます。今回も応分の寄付を
お願いするために振込用紙を同封致しました。
宜しくご協力をお願い致します。

【転居先不明者】

左記の方々の住所が判りでしたら事務局ま
で連絡をお願い致します。

〈敬称略〉

伊藤園子 佐藤幹代 杉山滋子
小山明文 斉藤なほみ 桂馬正美 河合昌愛一
西島登志子 安池ひと志 高巢久枝 遠藤登
上山好子 陳 正光 須田政瑞 岸本早智子
垣内博文 高島尚美 松尾かおる
原田美枝子 神谷洋子 庭山早苗 松本和幸
頼田敏之 原ハツエ 小田切斉 飯島悦子
小室亮介 坂本優 濱本新一 吉原芳子

《連絡先》

〒232-0061

横浜市南区大岡2-3-11

放送大学神奈川学習センター内

放送大学神奈川学習センター同窓会

『ゲーデルの業績について』

を聴いて

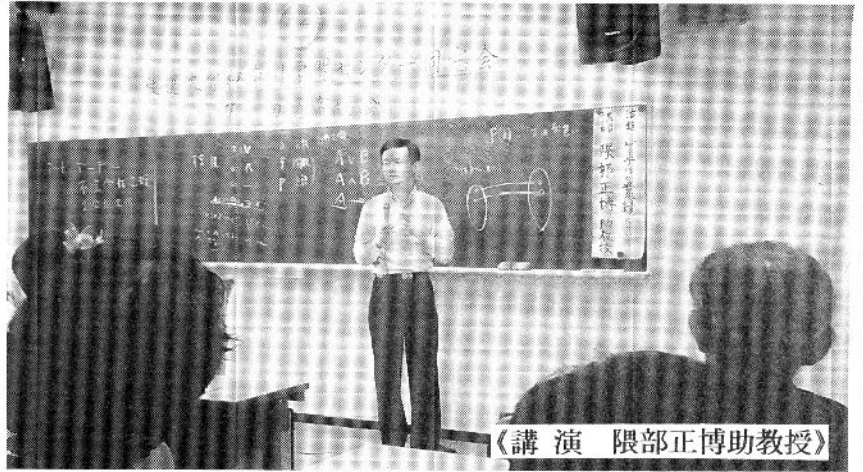
宮崎博之

数学の授業は受けたことがなく、ちょっと難しいかなと思いつながら、参加しました。

人間の理性には、限界があるのでしょいか？・数学における理性とは、規範的な推論のことを指します。規範的な推論は、誰もが正しいと思うこと、「公理」から出発し、三段論法などによって、ある事柄が成り立つことを証明するか、成り立たないことを証明すれば、問題を乗り越え規範的な推論ができた。すなわち、理性となります。これに対して、成り立つか成り立たないかがわからなければ、理性とはならなかったことになり、理性とは全ての事柄が時間がかかったとしても、成り立つか成り立たないかわかるなら、理性は限界がありません。

では、時間をかけたとしても、それが成り立つか成り立たないかわからない問題はありますか？

ここで、法律になぞらえてみます。ある法体系に全くの矛盾がなかったと仮定します。すると、どんな事柄についても、その法体系の中で判断がつき、新たな法律を作る必要はありません。しかし実際には、予測していなかった、新しい問題が生じた時、現行の法律では、対処できず、新たな法律を作った。新しい法律によって、強化された法体系は、今までのものより、もっと完全な法体系になっています。けれど、それでも、また新たな問題が生じ、日々、



【講演 隈部正博助教授】

新しい法律が加わっています。新しく加わる法律がある。事によつて、それまでの法体系が、完全ではないことが、証明されます。けれど、新しく加わった法律を含んだ法体系が、矛盾がなく完全であるかは、さらに新たな法律が作られるまではわかりません。(新たな法律が作られた時点で、矛盾があったことと、証明されます。) 数学的な言葉で説明すると、公理系(上の議論では、法体系に当たる。)は、それ自身に矛盾があるか否かは、それ自身の中(現行の法律にあたる)では証明できず、新しい公理(新法)が加わることによつて、矛盾があったことが証明できる。

けれど、そのより強化され新しくなった公理系に矛盾があるか否かは、また新たな、公理が追加されるまでわからない。このことは、ある事柄が成り立つか、成り立たないかわからないこと、理性に限界があることを示しています。これを「不完全性定理」といい、ゲーデルが数学的に証明しました。「不完全性定理」の業績は、法体系の例にあるように、社会的な事柄を考える上にも示唆を与えます。数学と聞くと、現実の社会とかけ離れたことのように思っていました。実社会になぞらえた話は、数学の影響の大きさと、先生の知識の広さを知る良い機会になりました。



私の

お台場

体験記

和合 明

「東京がこんなに変わるなんて」とゆりかもめの窓外に広がる風景を眺めながら戸惑いがよぎりました。私にとっての東京は初めて上京した時の焼け野原が出发点で、当時山の手線のどこの駅からでも富士山が見えました。その後都心は高層ビルが林立しましたが、「高度成長の産物」として焼け野原の延長線で理解できていました。しかし今日の『お台場』は突然現れた『おとぎばなしの国』のようです。

そんな回想にはちょっと蓋をしてフジテレビを見学、展望室で解説掲示板と照合しながら遠くの小さいビルを確認しているうちに室を一周してしまいました。今日は晴れて明るくさわやかな展望体験ができました。スタジオコースも日頃見ているテレビの画面と重ね合わせて物珍しく小学生のような気分ひたって見学し、きがつくと陽光まぶしい外へ出ていました。

次は、少し離れて『船の科学館』へぶらぶらしながら向かって、小さい木造船に入りました。これがお目当ての「宗谷」でした。宗谷物語は数日前NHKTV「プロジェクトX」で見えたのが嬉しい感慨一汐でした。寝返りも打てないし足も曲げなければ収まらない小さい木製のベッド、何の飾り気もないブリキのようなもので作られた炊事場、ただただ目的完遂以外は何も備えていないのではないかと思われる装備を息を止めてみていました。全国民を沸かせたのに「こんな船？」と驚くほど小さな船に乗り、嵐に耐え、氷を砕き、孤独と闘いながら乗組員だけで心を寄せ合い初心貫徹した心意気に無条件で頭が下がりました。

思えば当時世界の孤児になった日本人の挫折感とアイデンティティ喪失の状況の中で、いのちをかけ、やりたいこと、やらなければならぬことを達成した貴重な実績は、多くの日本人に、自信と勇気を与えるとともに国際社会の信頼回復を得るきっかけと流れを作ったのでしよう。

この「お台場」の風景も日本再興の記念碑「宗谷」の布石があったからこそで、「そうや、そうや」と頷き感動しつつ新橋駅で解散しました。

(2001年6月15日 記)

南極観測船宗谷の

見学について

片岡久雄

去る四月二十二日放送大学神奈川学習センター同窓会は東京港区のお台場を散策しました。恒例の行事です。

東京第二、千葉の人も加わり総勢23名でフジテレビ、船の科学館、南極船宗谷、青函連絡船羊蹄丸を見学しましたが、私が昔、宗谷に乗っていたという事で感想文を書く羽目になりましたが思いついたことを簡単に書くことで御容赦願いたいと思います。

日本が世界の列強にまじり南極観測を始めたのは昭和三十一年です。

以後、現在まで続いておりますが宗谷(海上保安庁)が観測隊の輸送業務を担当したのは第六次までで第七次からは海上自衛隊が行っております。

私が宗谷に乗船していたのは第一次と第二次の輸送のときですから既に四十五年昔のことになります。四十五年前という今回の見学者の多くはまだ子供の頃のことと南極観測のことなど特に興味があったとは思えないのであります。

世の中、宇宙時代というのに四十五年前の私の説明など陳腐に聞こえたに違いないと思ひ船内の説明は遠慮しながらごく簡単にさせてもらったのであります。

逆に、現在の快適な生活に慣れた見学者の皆さんが船内の居住環境の悪さにどのような反応を示されるかの方が私には興味があったのであります。

宗谷は基地の建設機材を満載しているほか、観測隊員、乗組員合わせて百三十名が乗っていたのですから文字通りスリ状態であったわけです。それに加えエアコンなしで南方海域、印度洋を航海したのですから隊員、乗組員

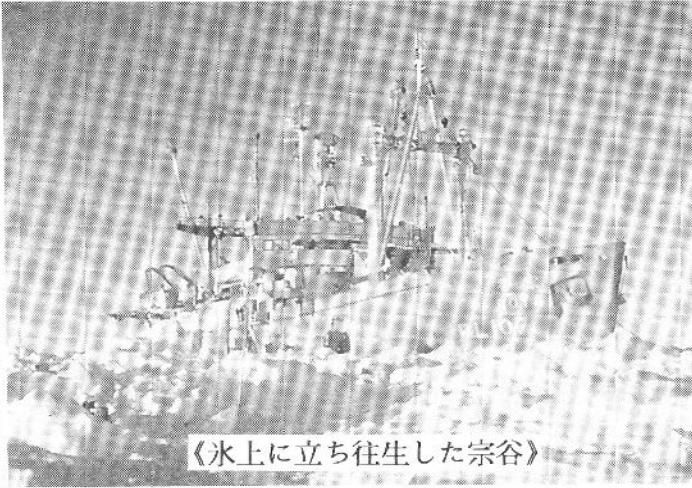
にとつては南極観測は暑さとの戦いでもあったわけですね。

予想通り皆さんが居住施設を見る眼は「よくこんなところで：」という表情を読み取ることができましたが四十五年も昔のことですから当たり前です。

南極観測の輸送上の特徴は資材の輸送を第三次より空輸に切り替えたことです。従って氷海に突入し辛酸をなめたのは第一次と第二次ですが、特に第一次の人達は文字通り生死を共にしたと言っても過言ではないでしょう。

その時の人達の多くはすでに鬼籍に入りましたが船内に入ると、その人達の笑顔が彷彿として思い出されるのであります。

最後に宗谷が氷上に立ち往生したときの写真を載せて頂きますが現在船の科学館前に静かに係留されている宗谷からこの状況が想像できるでしょう。



《氷上に立ち往生した宗谷》



《宗谷をバックに参加者》

第十五回 神奈川学習センター学園祭 フェスタ・ヨコハマ

八月二十六日(日)フェスタ・ヨコハマが開催されました。

同窓会は、今回初めて協賛ということとで参加しました。

午前中は記念講演「日本人の球心」蹴鞠から野球までと題して渡邊融先生の講演がありました。各サークル紹介ではフォースター・プラン活動のパネル展示とビデオを放映しました。

午後は交流会で各サークルで準備した焼きそば等を食べ、コーヒ、ビールを飲みながら賑やかな話の輪ができていました。囲碁将棋大会、俳句・川柳大会もあり、特に同窓会が担当したビンゴ大会は大いに盛り上がりました。早朝の雨も上がり楽しい一日でした。



《ビンゴの景品を手に談笑中》

私にとつての

大学院

放送大学大学院もいよいよ学生募集が始まりました。同窓会員のなかには既に他の大学院で学ばれた方、或いは、これから研究をしたいと思っっている方、更に大学院に期待をおもちの方に《私にとつての大学院》としてそれぞれ披露してもらいました。

尚、平成十四年度放送大学大学院「修士全科生」学生募集は出願受付期間が平成十二年九月一日（土）～九月十四日（金）となっています。

「提出先」〒261-8586

千葉市美浜区若葉 二一十一

放送大学教務部大学院課

☎〇四三一二七六一五一一（代）

放送大学大学院に

教員の資質向上を期待

加藤 登

今、日本の教育の抜本的改革を図ることの一つとして、教員の資質向上が上げられています。

横浜市教育委員会では、戦後、教員の資質向上について、いろいろな施策をとってきました。その中で、もっとも

長期的な教育研修として、大学や研究所への一年間派遣制度がありました。

現職を何年か経験して、自分の教育実

践を振り返り、教育の将来を展望した研修は極めて貴重な体験になり資質を向上させてきました。当時の派遣人員は一年に4～5名でしたが、平成十二年度を見ますと派遣条件や人員増からして、自治体や国の努力の跡を伺い知ることができ

ます。

参考までに記しますと

一、大学の研究室への派遣 9名

二、大学院への学習派遣 21名

三、自己計画奨励事業による夜間大学や通信大学学習者に学費補助

四、一年間の無給休暇による大学通学という制度があります。

しかし予算の関係から、校長推薦・教育委員会審査・学校選考などがあって、

多くの教員への適用はまだまだ至難な現状です。

この時期、放送大学大学院が開設されるということは、まさに教育への福音です。大学院在学は二年（在学年限五年）

ということですから、教職のかたわら、時間をかけて、上級免許を取得したり、

教育研究をしたりできる時代が来たことを喜ばずにはいられません。

現職教員の皆さんが研鑽の場として、大いに役立てて頂くことを願っています。

大学院では、《現職教員に広い門戸を開いて》下さい。

国や自治体へは、上級免許を取得された教員の給与を、採用時給与表から上級給与表を採用するように訴えます。

生活と福祉 平成7年3月卒業

（元 教育職）

大学院で学んだこと

古明地 和子

昭和四十六年から九年間幼児教育現場に勤務、父母の病気を機に専門学校で福祉を学ぶ、特養痴呆棟勤務と同時に放大学院に入学、更に深い福祉を学んだ。痴呆棟で示されていた幼児教育の重要さを学ぶため一九九九年通教大学院に入学一期生として二〇〇一年三月卒業し、現在、専門学校と短大の講師をしている。修論題目「病院内教育におけるQOL概念―神奈川県下の病院内教育―」北里大学病院の院内学級を研究源に教育の真の意味を病弱教育という切り口から探求してみた。病弱教育の歴史をまとめる時に「ハンセン病児童」への教育も調査した。通教大学院であり、ほとんど一人での研究であった。しかし学びという孤独の中で多くの出会いに慰められた。大学院で何を学んだかと問われたら、《自らの限界と人間としての有限性を示された》と即答できる。何も出来ない、差別意識の根深い人間としての自らを知った事は、大きな開放であり、支え合う意味も教えて頂いたと思っっている。今後機会が与えられたら、『悲嘆』についてまとめたいと願ひ折っている。

聖徳大学大学院児童学研究科大学院生としての参考書に放送大学の教材がフル回転、文献も参考になりました。「児童・高齢」とトータルに人間の学びが出来ました。

生活と福祉 平成10年3月卒業

（元 教育職）

大学院で学びたいこと

熊沢 利夫

私たちの身近な暮らしの中を眺めると、ありとあらゆる場々に、法律がかかわっていることが判る。法律という堅苦しいイメージだが、人々が快適で豊かな生活を営むための必要な取り決めである。

日々の買い物には売買契約が成立（民法）、自動車を運転すれば道路交通法、サラリーマン等労働者には労働基準法や、失業した時等の雇用保険法、さらに病気になるたときの健康保険法、そして定年後の年金法等・・・こうした

《身近な法律を、更に深く掘り下げて行きたい》と思っっている。法律は時代とともに、常に変化し、改定されており、興味の尽きることはない。

生活と経済 平成12年3月卒業

（元 教育職）



秋の散策は江の島へ

鎌倉の西南西に約7 km。 相模湾に浮かぶ小島が江の島。
雄大な大海原の眺めと心地よい潮風を浴びながら島を周遊します。
途中、ガレ・ドーム・ラリックなどの香水瓶を展示している美術館も見学。
日頃の運動不足解消にどうぞ。 海岸を一望できるレストランでの2次会も予定していますので楽しみに！

☆ 階段が非常に多い所ですので軽装でお出掛け下さい。

日 時： 平成13年10月21日(日) 小雨決行

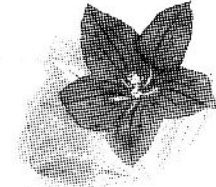
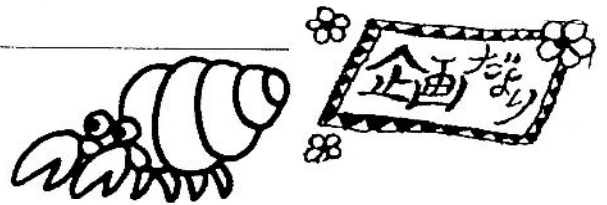
集合場所： 江の電江の島駅改札口 11時

コース： 江ノ島駅—香水瓶美術館—江の島弁天橋を渡って江の島へ—恵比寿屋にて昼食—江島神社—
植物園・展望台—江の島大師—江島神社(奥津宮)—岩屋(約40分、急な階段があるので待機組は
奥津宮で待つ)—奥津宮—*片岡鶴太郎美術館—*2次会

費用： 約3,500円(入場料及び食事代、但し、*の費用は含みません)

申込締切： 平成13年10月18日(木)

申込み先： 出口まで Tel & Fax 0467-24-0160



放送大学同窓生による体験発表

我々同窓生の中には、研究・体験・技術など広い分野に亘り、素晴らしい人生模様を繰り広げてこられた方がたくさんおられます。
今回は、佐藤さんには、勉学への意気込みを、天文にかける田澤氏には、スライドを交えてのお話をして頂くことにしました。

友人・知人をお誘いの上、お出掛け下さい。

日時： 平成13年11月11日(日) 13時~16時

場所： 神奈川学習センター 第8講義室

演題と略歴

○佐藤美津留さん

「晩学で私が得たもの」あれこれ

'91年3月 全科履修生「社会と経済」卒業

'95年3月 お茶の水大学 家政学研究科修士課程終了

'01年9月 全科履修生 「生活と福祉」卒業

○田澤誠一氏

「皆既日食で綴る太陽活動一周期」

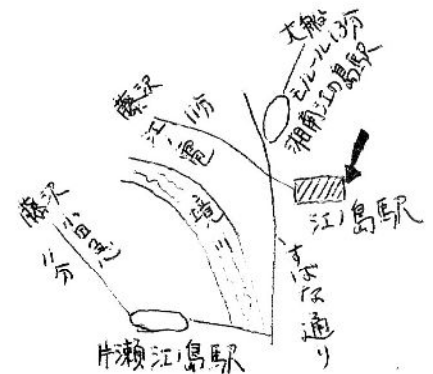
'93年9月 「自然の理解」卒業

横浜ビクター(株) 横浜工場にてサービスパーツの海外調達担当

横須賀天文研究会所属、 神奈川学習センター同窓会フォスター
プラン実行委員

§ 神奈川学習センターに限らず、研究・体験発表して頂ける同窓生
をご紹介下さい。

担当：出口 Tel & Fax 0467-24-0160



映画鑑賞とお話し

コーディネーターは神奈川の同窓生で、映画研究会員でもある西浦久晏氏が過去5000本程ご覧になった映画の中で10指に入るといふ名作の鑑賞と楽しいお話です。どうぞお気軽にご参加下さい。

題名「初恋のきた道」

清冽な感動を呼ぶラブストーリー

2000年中国チャン・イーモウ監督

第50回ベルリン国際映画祭銀熊賞受賞

日時：平成14年2月24日(日)

13時~16時

場所：神奈川学習センター第8講義室

改革・変革の時代

神奈川学習センター同窓会
会長 伊東 廣明

世の中は、改革・変革を求められています。それらには、自分たちで変えようと努力して変えられるもの、周囲の環境の変化によって変わるもの、変わらざるを得ないもの等があると思います。

同窓会における改革・変革とは？

最近の同窓会の活動計画を通して見ますと、少しづつ変化が見えて来ました。

☆ 同窓会員による講演、研究・体験発表会の開催は、会員の情報交換に止まる事なく地域の方々にも参加してもらおう発表会を計画しています。具体的には十一月開催の発表会は、佐藤美津留氏の「晩学で私が出たもの」田澤誠一氏の「〇年にわたる世界各地の日食観測の貴重な記録の発表をお願いしてあります。二月には西浦久晏氏の映画鑑賞会を開催します。これらの実施に当たり、当然学習センターの協力、理解が有つてのことで

☆ 九月の卒業祝賀会は、従来学習センター主催でしたが同窓会主催で開催することにしました。

☆ 《第十五回神奈川学習センター学園祭フェスタ・ヨコハマ》に実行委員会からのお誘いで協賛という事で参加させて頂くことになりました。在校生との交流については諸先輩が何回となく心掛けられた事柄の一つです。

物事を変えようと思っても、一人では難しく、皆様の協力、理解が有つて初めて実現出来ることであると思えます。

今後ともよろしくお願い致します。

今年の夏は、前半猛暑が続きましたので体調を崩しておられた方は大変厳しい夏であったことでしょう。

皆様のご健康の速い回復を心からお祈り致します。

連合会便り

第四回放送大学同窓会連合会総会が平成十三年四月十五日開催された。

平成十二年度活動・決算報告、卒業、祝賀謝恩会報告等があった。

藤江新会長から活動方針の説明があり、左記活動計画が決定した。

【平成十三年度活動計画】

- 一、大学と同窓会との懇談会開催
- 二、卒業・祝賀謝恩会の運営
- 三、今年度と同じNKホールの予定
- 三、広報活動推進による相互交流の促進
- 三、広報紙「公孫樹」を年2回発行。情報交換と相互交流を促進する。
- 四、新設同窓会との対応
- 四、全国化担当役員中心に対応する。

【平成十三年度連合会役員】

- 会長 藤江 孝 (東京足立)
副会長 須藤 國夫 (栃木)
事務局長 木村 真人 (東京足立)

同窓会年会費納入のお願い

神奈川学習センター同窓会では、会員の皆様に年会費1,000円を納入して戴いています。就きましては同封の郵便振込用紙にて、平成13年度年会費をご送金下さいますようお願い致します。領収書は振込票の控えをもって、代えさせて戴きます。

また、平成12年度年会費未納の方にも振込用紙を同封させて戴きますのでよろしくお願い致します。

尚、既に納入済みの方はご容赦ください。また、既にご案内の通り終身会員の方も年会費を納入して戴くことになっておりますのでよろしくご協力をお願い致します。

各同窓会の動き

〈東京世田谷(東京第一)〉

一、十月七日(日)

「第十五回 下馬祭」

二、十月十三日(土)〜十四日(日)

「湯西川温泉と奥日光散策ツアー」

三、十二月八日(日)

恒例都内散策「都内名園巡り」

〈東京足立(東京第三)〉

一、十月十三日

第十二回 料理教室

「男性の料理教室」ビール付き

〈埼玉〉

一、十月十三日〜十四日

紅葉まぶしい秋の昇仙峡を歩こう

〈群馬〉

一、十一月十八日

小江戸「川越市内」散策

計報

次の方々の計報がご家族からありました。

水上 義郎様 (平成二年 自然と理解)

宮島 文子様 (平成五年 社会と経済)

茲に、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

合掌

編集後記

七月に入ってから暑さはひどいものでした。観測史上最高の40℃を記録したり、体温より高い気温の中、動くのは大変でした。暑さの為でしょうかパソコンが壊れ、終に体調も悪くなってしまい9月発刊に間に合うか不安でした。会員の皆様とつなぐ大切なパイプですからいろいろ情報を載せ、波瀾を心待ちにして戴ける様充実させて行きたいと思えます。

今年度の企画担当も知恵を絞る行事計画を立てました。講演会、ハイキングなどぜひ参加して下さい。また、行事、波瀾の誌面作り等について良いアイデアがありましたらお知らせ下さい。

次回三月の波瀾も会員の皆様に満足して戴けるよう頑張ります。(小山佐枝子 記)

口座番号 00250-4-16183
〒232-0061
横浜市南区大岡2-31-1
放送大学神奈川学習センター 同窓会事務局
《問合せ先》
☎ 045-804-0515 (会計 佐藤)
0468-48-3882 (会計 大泉)

【平成13年度役員】
【同窓会役員】

- | | | |
|------|-------|--------|
| 会長 | 伊東 廣明 | 大泉 トク |
| 副会長 | 小山佐枝子 | 飯塚 佳子 |
| 事務局長 | 片岡 久雄 | 佐々木 順子 |
| 理事 | 佐藤美津留 | 和合 明 |
| | 元山由喜夫 | 福島 三郎 |
| | 出口 仁美 | 龍造寺 寛 |
| | 片野 克巳 | |
| | 伊藤 泰史 | |
| 監事 | 藤井 輝 | |

【フォスター・プラン実行委員】
松岡 和正 田澤 誠一 森西 節子
星 礼子 五十嵐一成 藤井 輝
伊東 廣明

【役員退任者】
西浦 久晏 金子 和子

皆様長い間本当にご苦勞様でした。